

さけ・ます増殖管理推進事業（サクラマス関係）

（抄録）

鈴木 亮

沿岸漁獲量調査

青森県全体の 2001 年のサクラマス漁獲量は 181 トンで、前年に比べ 3% の減少となった。海域別の漁獲量を見ると、太平洋 83 トン（前年比 115%）、日本海 47 トン（同 131%）と前年を上回っているものの、津軽海峡 48 トン（同 66%）、むつ湾 2.5 トン（同 78%）では前年を下回っていた。

主要港における市場調査

2001 年における標識魚混入率は、大畑地区では 3.45%（前年比 106%）と前年を上回ったが、深浦・大戸瀬地区では 0.78%（前年比 72%）と前年を下回った。

沿岸分布回遊調査

青森県では 2001 年春季サクラマス幼魚のリボンタグ標識放流は実施していなかった。2002 年 1 月から 11 月末までに、青森県沿岸で漁獲されたリボンタグ標識魚再捕尾数は 60 尾で、北海道 39 尾、秋田県 11 尾、山形県 8 尾、岩手県 2 尾であった。

幼魚混獲調査

2001 年 3～6 月に県内 7 地区において、定置網で混獲されたサクラマス幼魚について、体サイズや雌雄比、胃内容などを測定した。採集尾数は太平洋側 143 尾、日本海側 53 尾で合計 196 尾であった。出現率が高かった餌料は、太平洋側は端脚類で 36.4%、日本海では魚類で 85.0%であった。日本海側は魚類に大きく依存する傾向が窺えた。一方、太平洋側ではオキアミや端脚類などを摂餌し多様性に富んでいた。